

(1)自治体名：山形県	(2)知事・市区町村長名：吉村美栄子
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[標題] 子育てを楽しみましょう	
[メッセージ](50～100 字程度) 子育ては人類の営みの中で最も大切なものです。子育ては大変な仕事ですが、子育て真っ最中の家庭ではもっと子育てを楽しんでほしいと思っています。県では、「子育てするなら山形県」と誇れる地域づくりを進めてまいります。	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[アピールポイント](50 字以内) 山形みんなで子育て応援団～一人ひとりが、できることから子どもや子育て家庭に対する応援活動を実践します	
[概要](200 字以内) 県民が「子育てするなら山形県」と実感できるよう、子どもや子育て家庭に対する応援活動を県民総ぐるみで実践する「山形みんなで子育て応援団」を創設しました。一般県民、NPO法人や保育所等の関係団体、企業及び行政機関等が、各々の役割分担に従い連携しつつ具体的な活動を展開します。結婚、出産・子育て、育成、仕事と家庭の両立等のライフステージに合わせ、一人ひとりができることから、応援活動を実践していきます。	
(5)担当課 / 直通番号	子ども政策室子育て支援課 /023-630-2261
(6)HP の URL 記載可	ykosodate@pref.yamagata.jp

(1)自治体名：山形県山形市	(2)知事・市区町村長名：市川 昭男
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[標 題]	
[メッセージ](50～100 字程度) 山形市では、「子育て支援」を重要施策と位置付けており，市民・事業者・行政が連携のもと，社会全体で子育てを支援することにより，山形市の将来を担うこどもたちの健全な育成に力を入れております。	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[アピールポイント](50 字以内) 今年度より保育ママ事業を開始し，より安心して預けられるよう市独自に児童 1 人から補助員をつけています。	
[概要](200 字以内) 本市では，多様な保育環境の提供と待機児童解消のため，3 歳未満の乳幼児を対象として，保育ママ事業を開始し，現在 6 名の保育ママが 29 人のお子さんをお預かりしています。国の基準では児童 3 人までは補助員を配置する義務はありませんが，保育ママの孤立化の防止や，保護者に安心してお子さんを預けていただけるよう，市の単独予算で児童 1 人から補助員を配置し，保育ママ並びに保護者の不安解消に努めています。	
(5)担当課 / 直通番号	子育て推進部こども保育課 / 023-641-1212(内線 555)
(6)HP の URL 記載可	http://www.kosodate-yamagata.jp/

(1)自治体名：山形県酒田市	(2)知事・市区町村長名： 阿部 寿一
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[標題] 子育てをみんなで支えるまち 酒田	
[メッセージ](50～100 字程度)	
<p>地域・企業・行政が一体となって、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進め、子どもからお年寄りまで、市民の笑顔にあふれているまちを目指します！</p>	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[アピールポイント](50 字以内)	
<p>学童保育事業 公設民営方式による学童保育事業を展開</p>	
[概要](200 字以内)	
<p>酒田市の学童保育事業は、平成13年度から、それまで色々だった設置・運営形態を統一し、公設民営方式に切り替えました。これは、施設は市が整備し、運営は、住民自治組織や保護者などで構成する運営委員会が担うという方式です。市街地小学校区での整備を終えた現在では、農村部での需用の高まりを受けて、利用児童が10人未満の学区においても整備を進めており、市民の皆様から喜ばれております。</p>	
(5)担当課 / 直通番号	健康福祉部子育て支援課/ 0234-22-5111
(6)HPのURL 記載可	http://www.city.sakata.lg.jp/

(1)自治体名：山形県庄内町	(2)知事・市区町村長名：原田 眞樹
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[標題] 庄内町子育て応援日本一の町づくり宣言	
[メッセージ](50～100 字程度) “ 少子化の進行は、町民の暮らしや町の経済に大きな影響を与えています。子どもを安心して生み、育て、子どもたちが心豊かで健やかに成長することは、すべての町民の願いであり、町の発展の基盤です。 ここに庄内町は、町民一人一人が子どもたちを見守り育み、家庭、地域、事業者及び行政が力を合わせて子育てを応援し、次代の社会を担う若者や子どもたちが、将来に希望を持ち、子どもたちの元気な声があふれ、誰もが住みたくなる「子育て応援日本一の町づくり」を宣言します。”	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[アピールポイント](50 字以内) 地域ボランティアが運営する学童保育所「ふれあいホーム」	
[概要](200 字以内) 平成 13 年 11 月、地域住民の自発的な形で「学童保育（ふれあいホーム）実施検討会」が発足し、 「地域の子どもは地域で見守り育てる」 「一学区 1 学童保育所の設置」 「高齢者との交流」 の三つを目標とした「ふれあいホーム構想」が生まれました。利用アンケート調査の実施やふれあいホーム実施組織“愛康会”が設立され、地域で運営する学童保育所「ふれあいホーム払田」が平成 15 年の秋に開設されました。この学童保育所にはもう一つ特色があり、町が古民家を借り上げ、施設の管理を行い、その運営を“愛康会”に委託しています。会を支えている人達は、現役を退いた方々や普通の主婦の方達です。その思いは様々ですが「地域の子ども達は、地域で見守り育てたい」という一点で結ばれています。 平成 21 年 9 月、町内 3 か所目の「ふれあいホーム」が開設されました。子育て応援日本一の町づくり、庄内町のシンボル事業となっています。	
(5)担当課 / 直通番号	保健福祉課 /0234-56-2216
(6)HP の URL 記載可	http://www.town.shonai.lg.jp/